

令和3年度 愛知県高等学校新人体育大会 柔道競技  
兼 第44回 全国高等学校柔道選手権大会 県予選  
実 施 要 項

- 1 主催 愛知県高等学校体育連盟
- 2 共催 愛知県教育委員会
- 3 後援 (一社)愛知県柔道連盟
- 4 期日 令和4年1月22日(土) 10:00～ 男子団体・女子個人  
令和4年1月29日(土) 10:00～ 女子団体・男子個人
- 5 会場 愛知県武道館 第1競技場  
名古屋市港区丸池町1-1-4
- 6 参加費 個人戦、団体戦ともに1名700円(試合当日の受付で支払うこと)  
※ 個人戦、団体戦の両方に出場する場合でも、それぞれで参加費を支払うこと
- 7 申し込み先・期日  
(1) 男女団体戦  
それぞれ1部ずつ所定の申し込み用紙で各支部長に申し込むこと。(愛知県高体連のホームページの用紙を利用すること)

男女団体戦の申込×切日は以下の通りである。

名 北	杉原大一郎(名古屋西高校)	11/9 締め切り
名 南	松下泰夫(名城大附属高校)	11/16 締め切り
尾 張	羽生裕司(滝高校)	10/26 締め切り
知 多	伊東朝樹(半田高校)	11/16 締め切り
西三河	古居義則(知立東高校)	10/15 締め切り
東三河	笹瀬貴司(豊橋南高校)	10/22 締め切り

- (2) 男女個人戦  
男女個人戦の申込は愛知県高体連のホームページに掲載されている個人戦用シートに必要事項を入力し、下記の申込先へメールで申込をすること。また、同様のシートを印刷し、学校印を押したものも期限までに同様の申込先へ郵送すること。メールおよび書類の両方が期限内に届かないと、大会には参加できない。

【申込先】

愛知県立半田高等学校 伊東朝樹  
〒475-0903 半田市出口町1-30  
TEL 0569-21-0272 FAX 0569-24-7426  
E-mail [asahiro111@gmail.com](mailto:asahiro111@gmail.com)

【申込期限】 令和3年11月26日(金) 必着

- 8 参加資格
  - (1) 学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒。  
上記以外の学校の参加については、愛知県高等学校体育連盟の内規に準ずる。
  - (2) 愛知県高等学校体育連盟加盟校の生徒であり、全日本柔道連盟の競技者登録をしている者。
  - (3) 学校長の出場許可のある者。
  - (4) 平成15年4月2日以降に生まれた者、ただし、同一学年の出場は1回限りとする。
  - (5) チーム編成において、全日制・定時制・通信制課程の生徒による混合は認めない。

- (6) 外国人留学生の参加については愛知県高等学校体育連盟の内規に準ずる。  
(7) 転校後の参加については、転校後 6 ヶ月を経過していること。ただし、一家転住等の理由によりやむを得ない場合は、高体連柔道部長の許可があれば、この限りではない。

## 9 男子団体戦

### (1) チーム編成

- ① チームは監督 1 名、選手 6 名の計 7 名をもって編成し、1 校 1 チームとする。ただし、県大会については選手 2 名以上で参加可能であるが、5 名未満の場合は全国大会には出場できない
- ② **登録選手の入替えは怪我などのやむを得ない場合のみ選手変更届**(愛知県高体連ホームページにある所定の申し込み用紙)で 1 名のみ入れ替えができる。9:00~9:40 までに選手変更受付に提出すること。  
**※ 選手変更届は、選手変更理由を付した新しい様式のものであること。変更理由の無い旧来の様式のもの認めない。**

### (2) 試合方法

- ① 各支部予選を勝ち抜いた 36 校による学校対抗の勝ち抜きトーナメント戦とする。
- ② 各支部からの出場枠は以下の通りとする。  
名北 4校 名南 9校 尾張 8校 知多 3校 西三河 8校 東三河 4校
- ③ 選手 5 名のオーダーは試合ごとに変更可とし、試合ごとに本部にオーダー表を提出すること。

### (3) 試合規定

- ① 試合は国際柔道連盟試合審判規定によって行う。
- ② 背中のゼッケンは必ず着用すること。
- ③ 柔道着(帯も含む)については全日本柔道連盟の規格に該当するものとする。
- ④ **試合時間はすべて 3 分とする。**
- ⑤ 判定基準は、「技有」または「僅差」以上とする。  
**※「僅差」とは技によるスコアが無い場合、または同等の場合に、「指導」差が 2 以上ある場合を僅差による優勢勝ちとする。「指導」の差が 1 であれば、引き分けとする。**
- ⑥ 大将戦において引き分けた場合は代表戦を行う。3 分間の試合の中で、技によるスコアが同等で指導差 2 も無い場合は時間無制限のゴールデンスコアを適用する。代表戦出場者は監督が任意で選出する。

### (4) 全国大会代表校決定方法

- 男子団体戦では 2 校が愛知県代表として全国高等学校柔道選手権大会に出場する。県予選の優勝校を第 1 代表校とし、第 2 代表校は下記のように決定する。
- ① 決勝で敗退した学校と、3 位決定戦の勝者が準決勝で直接対戦している場合、決勝で敗退した学校を第 2 代表校とする。
  - ② 決勝で敗退した学校と、3 位決定戦の勝者が準決勝で直接対戦していない場合、その学校どうして代表決定戦を行う。この代表決定戦の勝者を第 2 代表校とする。

## 10 女子団体戦

### (1) チーム編成

- ① チームは監督 1 名、選手 3 名、補欠 2 名の計 6 名をもって編成し、1 校 1 チームとする。ただし、県大会は選手 2 名以上で参加可能であるが、3 名未満の場合は全国大会には出場できない。
- ② 先鋒は 52kg 以下、中堅は 63kg 以下、大将は無差別とする。
- ③ **登録選手の入替えは怪我などのやむを得ない場合のみ選手変更届**(愛知県高体連ホームページにある所定の申し込み用紙)で 1 名のみ入れ替えができる。9:00~9:40 までに選手変更受付に提出すること。ただし、必ず補欠を優先的に充当する。  
例外的に、次のような場合は認められる(全国大会基準)。補欠に 52kg 以下の選手を登録していない状態で、先鋒(52kg 以下)を抹消する場合、及び補欠に 63kg 以下の選手を登録していない状態で、中堅(63kg 以下)を抹消する場合は、新たに登録する選手を直接、先鋒あるいは中堅に入れることができる。  
**※ 選手変更届は、選手変更理由を付した新しい様式のものであること。変更理由の無い旧来の様式のもの認めない。**

### (2) 試合方法

- ① 各支部予選に参加した学校対抗の点取りトーナメント戦とする。(ただし、エントリーをしていたが、やむをえない事情により支部予選を欠場した場合でも県大会には参加可とする)
- ② オーダーは固定とする。
- ③ 補欠との入れ替えは、試合開始前までに会場係に申し出ること。ただし、一度補欠を入れた場合、再度

入れ替えることはできない。

(3) 試合規定

- ① 試合は国際柔道連盟試合審判規定によって行う。
- ② 背中のゼッケンは必ず着用すること。
- ③ 柔道着(帯も含む)については新規格に該当するものとする。
- ④ **試合時間はすべて3分とする。**
- ⑤ 判定基準は、「技あり」または「僅差」以上とする。  
※「僅差」とは技によるスコアが無い場合、または同等の場合に、「指導」差が2以上ある場合を僅差による優勢勝ちとする。「指導」の差が1であれば、引き分けとする。
- ⑥ 勝ち数が同じ場合、一本勝ちの多い方が勝ちとする。一本の数が同じ場合は「技あり」の数の順で勝敗を決める。内容も同じ場合は、代表戦を行う。
- ⑦ 代表戦は、引き分け対戦の中から抽選で選び、最初からゴールデンスコア方式の試合を時間無制限で行い、勝敗の決定については個人戦のゴールデンスコアに準ずる。なお、引き分け対戦がない場合は、両者反則負けなどで勝敗がつかなかった対戦を代表戦とする。また、両チームが2名しかおらず、引き分け対戦がない場合などは、代表選手を全ての対戦の中から抽選で選出し、ゴールデンスコア方式の試合を時間無制限で行う。

11 体重別個人戦

(1) 体重区分

- |      |      |      |      |      |     |
|------|------|------|------|------|-----|
| ① 男子 | 60kg | 66kg | 73kg | 81kg | 無差別 |
| ② 女子 | 48kg | 52kg | 57kg | 63kg | 無差別 |

(2) 出場枠

① 男子

60kg級、66kg級、73kg級、81kg級は各階級2名までとする。無差別は3名までとする。ただし、尾張・名古屋・知多新人体重別大会でベスト8以上または全三河体重別大会でベスト4以上に進出した選手の学校には、さらに該当する階級に1名追加することができる。

※ 60kg～81kg級は最大3名、無差別は最大4名までとなる。

② 女子

参加制限なし

(3) 計量

- ① 9:00～9:40の間に行う。時間内なら何度でも計量できる。(計量時間は変更の場合あり)
- ② 計量を行わなかった選手および計量をパスしなかった選手は失格となる。

(4) 試合方法

- ① 体重別(5階級)の個人試合とする。
- ② 試合はトーナメント戦とし、3位決定戦を実施する。

(5) 試合規定

- ① 試合は国際柔道連盟試合審判規定によって行う。
- ② 背中のゼッケンは必ず着用すること。
- ③ 柔道着(帯も含む)については新規格に該当するものとする。
- ④ 試合時間は3分とする。
- ⑤ 勝敗の決定は以下の通りに行う。  
技によるポイントのみがスコアとなり、最後にスコアが上の方が勝ちとなる。技のスコアが同等の場合は、準々決勝まで及び3位決定戦では指導の少ない方が勝者となる。指導差も無い場合は旗判定により勝敗を決する(旧ルールと同様)。準決勝および決勝は、技のスコアが同等の場合、指導差2の場合は僅差勝ちとなる。指導差が1以下の場合は時間無制限のゴールデンスコアを適用する。ゴールデンスコアでは、最初に技によるスコアを得た選手が勝者となる。または、「指導」の数が多くなった選手が敗者となる。

12 感染症対策

(1) 参加生徒および部活動顧問の健康状態について

- ① 生徒および顧問は、感染者および濃厚接触者でないこと。また、校内で新型コロナウイルス感染者および濃厚接触者が判明した場合は、保健所等の指示に従うこと。
- ② 生徒および顧問は、大会当日検温を行い、37.5℃以上ある者は会場へ入場できない。
- ③ 発熱が無い者でも、倦怠感、息苦しさ、咳、咽頭痛等の自覚症状のある者は会場へ入場できない。

- ④ 引率者、生徒、役員および補助員は、大会前 2 週間分の「体調管理チェックシート」を大会当日に提出すること。(提出できない者は入場できない)
  - ※ 「体調管理チェックシート」は、この大会要項の最後に添付してあります。
  - ※ チェックシートの提出方法は後日連絡する。
- (2) 会場の3密対策について
  - ① 大会会場へ入場できるのは、引率者(3名まで)、柔道部員(1,2年生のみ)、役員、~~保護者~~ 視察員のみとする。(保護者や一般生徒、卒業生などは入場できない。)
  - ② 大会会場内において、1階競技場へ出入りできる生徒は、選手および補助員のみとする。選手以外の部員は2階観覧席で応援すること。また、選手でも、試合に敗退した場合は2階観覧席で応援すること。
    - ※ 上記①および②に関して違反する学校があった場合には、次回以降の大会参加に際して出場停止などのペナルティーを科すことがある。
  - ③ 2階観覧席で応援する生徒は、お互いに十分な距離(2m程度)を保って座り、大きな声での会話や応援は控えること。
  - ④ 開会式、閉会式は簡易的な形にして短時間で行う。
- (3) 引率顧問・役員・補助員生徒へ
  - ① 会場内では必ずマスクを着用すること。
  - ② 会場入場時には、設置してある消毒液で手指消毒を行うこと。
- (4) 出場選手へ
  - ① 試合待機時にはマスクの着用をすること。
  - ② 会場入場時には設置してある消毒液で手指消毒を行うこと。
  - ③ 試合の前後には、試合場に設置してある消毒液で手指消毒を行うこと。

### 13 その他

- (1) 愛知県内の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、大会中止となる場合もある。中止となる場合は、各支部長を通じて各学校に連絡する。
- (2) 審判については団体戦、個人戦ともに従来通りの4審制(主審1名、副審2名、 Jury 1名)で全て実施し、ケアシステムを使用する。
- (3) 男女団体戦の優勝校および男女個人戦の優勝者は全国大会への出場権を得る。
- (4) 男子団体戦では第2代表校も全国大会への出場権を得る。第2代表校の決定方法は9(4)の通り。
- (5) 大会参加に際しては、監督あるいは顧問(引率教諭)の付き添いを要する。
- (6) 申し込みならびに計量等で不正が生じた場合、チーム全体の出場を認めない等のペナルティーを科すことがある。